



滋賀県

レイカディア大学

米原校 サポート隊通信



2019年（平成31年）2月1日発行 第14号

—新隊長、抱負を語る—

サポート隊発足の原点に立ち返って

第7期サポート隊隊長 中川豊太良

レイカディア大学米原校のサポート隊は、草津校に2年遅れて発足し、今年7期目を迎えます。その間、大学と学生の支援を重点に、年々充実した活動が実施されてまいりました。



この取り組みを、財団法人長寿社会開発センター（注）が評価され、去る11月22日草津校の隊長と共に、「高齢者大学におけるOB等の支援について」

のテーマで活動を紹介してきました。

一方では、サポート隊の活動もマンネリ化して来たのではないかとの声もあり、サポート隊の目的を、学生により深く理解して戴くためにも、学生を巻き込んだ活動にするべく、各部会毎の調整を協議してまいります。

今年も学生募集や、レイカディア大学の認知度の向上に向けて、草津校サポート隊と連携し、交流を深めてまいりたいと思っています。今後とも、隊員始め関係各位のご支援とご協力を、宜しくお願い申し上げます。

（注）高齢者の生きがいを見だし、健康づくりを推進する活動グループと連携して育成と普及を図り、優良な活動グループを支援している。

在学生の紹介

40期園芸学科

～毎回期待、貴重な体験 校外学習～

私たちのクラスは女性1名と男性24名の年令、経歴、生活や活動地域の違う個性豊かな仲間たちです。

脚立は登れば落ちる、刃物を持つと性格が変わる、を教訓に、最初は低木平戸ツツジから始め、公園や学校での校外学習で中高木にも挑戦しています。今までは見学していた由緒ある名勝庭園での樹木管理実習は、大変貴重な体験となりました。



青岸寺での剪定、雨でも愉し

また、2年生最初の実習伊吹薬草の里文化センターでは、皆さん多くの脚立を持参され意気込みの凄さが表れています。終われば薬草風呂で裸の付き合いです。

実生から育てている盆栽は、人生100年時代に合わせて、各自、目標を30年物に挑戦すべく毎日水やりに励んでいます。

入学して早や1年余が経過し、これからは4班に分かれて課題学習への取り組みです。皆で協力し、日々勉学に励み、時には懇親会で羽目を外し、卒業後も継続できる取り組みに挑戦しています。



伊吹薬草の里

実習後は薬草湯で裸のつきあい

40 期北近江文化学科

～楽しい「あつという間」の1年～

「北近江の歴史と文化を学び地域活動に生かそう」という「同じ志」を持った17名の仲間です。学ぶことで脳が活性化し、地域に出かけることで新たな発見と健康に繋がっています。「宿場巡り」から始まり「近江の文学」・「城郭探訪」そして「北近江の民俗」等の現地学習と発表会は、楽しみと沢山の思い出を作ってくれました。講師の先生やクラスの仲間から、自分が経験した事の無い話を聞くのも新鮮でした。



小谷城址での城郭講座

入学して「あつという間」に一年が過ぎ、与えられたテーマで学習・発表する事はもちろんですが、各グループで決めた「課題学習テーマ」に積極的に取り組み、お互い協力しあい、卒業後も継続して活動できる知識と体力を身につけていきたいと思えます。



徳源院にて

サポート隊からのお願い

サポート隊は8部会、総勢85名で活動しています。随時加入OK、あなたの経験と奉仕のお気持ちをお待ちしています。

40 期健康づくり学科

～健康盤石を目指して～

私たち第40期健康づくり学科は、現在は男性7名女性5名の12名です。2年生になった今は、クラス全員が一致団結して課題学習に取り掛かったところ です。

クラスの平均年齢は60歳後半、人生100年時代といわれる今、これから40年余を健康で心豊かに過ごしたいものです。



皆で花や野菜を植えた老人ホーム「きぬがさ」にて

滋賀県の男性平均寿命が全国1位となりましたが健康寿命との9年余のギャップを少しでも減らす必要があります。いつまでも健康でいられるためには、食事(栄養)をしっかり取り、休息(睡眠)をし、適度に運動をし、ストレスを減らし、仲間をつくり、社会参加(地域貢献)するなど、いくつかの大切なことがあります。

レイカディア大学健康づくり学科は、まさにそれらのことを学習し実践できる場です。そこには出会いと感動があり、月日を重ねるごとにその経験が実り、健やかに輝く毎日の生活が送れます。健康を盤石なものにするために、老齢に打ち克つ挑戦を続けたいものです。



希望ヶ丘文化公園野外活動センター

卒業生の地域活動の紹介

みつわ会（38期北近江文化学科）

歴史にふれる活動を

名前の由来は卒業を機会に「ひとの輪・学びの輪・奉仕の輪」を大切に、活動することを目的に決めました。卒業後の会員は10名と少ないのですが特に街道・城郭に興味があり、JRのワンディパスや青春切符を有効に使い、和歌山城や姫路城に行き、また近江鉄道のローカル線に乗って水口宿などの歴史に触れています。



高月町冷水寺で紙芝居、懐かしいのが新鮮です



多賀町ささゆり保育園での紙芝居
園児は真剣に見ています

10月には長浜高月観音まつりに行き、普段非公開の観音様を拝むこともできました。レイカ大卒業生でボランティアガイドとして活躍されている多くの皆さんにもお会いし、活動を知る事もできました。

先輩、みなよし会(37期北近江文化学科)にはサポート隊行事で多賀ささゆり園訪問や乙女浜老人憩の家への訪問に声をかけていただき、紙芝居を中心にギターとよし笛の演奏など新たに挑戦中です。みつわ会単独の訪問はまだですが、機会があれば色々のグループと共同で活動したいと考えています。

クラブ活動の紹介

グループ・燦燦（さんさん）

長く継続する秘訣は無理をしない

健康レクリエーション学科33期13名の集まりです。大学で学んだことを活かして高齢者施設などへの訪問を行っており、年間3回以上を目標にしています。

グループを3つに分けたチームが輪番で、訪問先、出し物を考え、皆で練習をします。手遊び・創作ダンス・皿回し・よし笛演奏・歌遊び・タオル体操などの中から訪問先を考慮しメニューを工夫しています。

無理をしない範囲で集まることにし、毎月1回の米



グループ・燦燦 特老 能登川園にて



原公民館での定例会も楽しく、10名ぐらいの参加者があります。出会えるとやっぱり元気を貰い合えます。訪問活動を含めて、現在の状況を全員にメール配信して周知していますので、いつ参加してもスムーズに事が運びます。

“いつまでも輝く太陽（燦燦・SUN）のように”との願いからの命名ですが、60代で入学した私たちも、元号が変わる2019年には大方の人が70代となります。現在の居心地よい楽しい関係を保ちながら、少しでも長くボランティア活動が出来ることを願っています。(HP:レイ大同窓会の外部リンク:OBたちのLink)

広報・情報部会

ホームページ講習会の開催

今年も、新しく入学された41期生を対象に11月16日と12月6日の2日間ホームページ作成講習会が開催されました。

今年の講習会はサポート隊の37期の上野芳樹さんを講師として進行。わかり易くかつ詳細に説明して頂き、41期生はもとより、参加者全員の理解も早く、予定以上に進行して意義ある講習会になりました。

ホームページは学生生活の活動の様子を発信するツールとして米原校、草津校の各科がそれぞれ特色あるデザインで作りこみ、活用しています。



その為、この講習会はホームページの開設の実践講習として、各科が早期に開設できる様、毎年この時期に実施しています。

今回の講習会を更に実のあるものにするには、日頃から継続してホームページと関わりを持つ事が何よりも大事だと感じました。

尚、今後共、サポート隊通信への記事投稿も併せて宜しくお願いします。

優秀な出来栄えの園芸学科の3様のデザイン、いいところ取りで仲良く制作しています。



サポート隊通信 2019年(平成31年)2月1日 第14号

発行：滋賀県レイカディア大学

米原校サポート隊(広報・情報部会)

□ 米原市下多良 2-137(県立文化産業交流会館)

滋賀県レイカディア大学米原校内

□ 電話：0749-52-5110

□ HP：http://lacamaibara.com

園芸学科部会

雲迎寺(さつき寺)剪定実習

7月3日、日野町の雲迎寺(さつき寺)で実施された剪定実習(園芸学科40期生)に、北村先生の補助として、サポート隊員6名が参加しました。



作業開始に先立って、北村先生から剪定について基本的な説明があり、その後学生は4班に分かれて作業を行いました。サポート隊も各班に分かれ、各種サポートを行いました。雲迎寺のさつきは、古木(樹齢約400年)が多く、近年樹勢が弱ってきている箇所があり、細心の注意を払って剪定しました。作業が完了すると、古刹の庭園としての風情が復活し、参加者全員が達成感を味わうことができました。



真ん中に立つ人の後ろのサツキは背丈が250cmあり、400年の積年の重みが伝わってきます。

《編集後記》

今回この通信を編集するにあたり痛感した。社会との関わりの中で、奉仕活動にいそしみ、心身ともに充実した日々を送る卒業生がいかに多いことかを。サポート隊の使命は引っ込んでしまった卒業生に社会参画への志を高く持ち続けてもらうことにある。この通信が社会に再び出でんとするあなたの心を掻き立てる一助になればと頑張る所存である。